

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-125562

(43)Date of publication of application : 13.05.1997

(51)Int.CI.

E04B 1/94
B32B 13/06
E04C 2/28

(21)Application number : 07-319433

(71)Applicant : TOYO POLYMER KK

(22)Date of filing : 01.11.1995

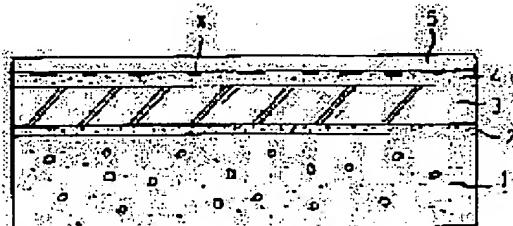
(72)Inventor : MIDORIKAWA KATSUO

(54) NON-COMBUSTIBLE KITCHEN PANEL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a non-combustible kitchen panel easy to remove stains by sticking a metal sheet selected from an aluminum sheet, a stainless steel sheet, a zinc steel sheet, and an iron sheet on the surface of fiber-mixed slag cement, sticking a fluororesin film on its surface, and applying a pattern on the back face of the film or the surface of the metal sheet.

SOLUTION: Fiber-mixed slag cement 1 is used as a base material, and a metal sheet 1 is stuck on its surface via an adhesive layer 2 made of a normal acrylic resin adhesive. A fluororesin film 5 is stuck on its surface via an adhesive layer 4 made of a normal polyester resin adhesive. This panel is noncombustible as a whole, the fluororesin film 5 has high heat resistance, and it can be used over a long period. A printed pattern X is applied on the back face of the fluororesin film 5 to improve the decorative property. Stains can be simply removed when they are wiped with a dustcloth.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

JP-A-125562

Publication date: May 13, 1997



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-125562

(43)公開日 平成9年(1997)5月13日

(51)Int.Cl.⁶
E 0 4 B 1/94
B 3 2 B 13/06
E 0 4 C 2/28

識別記号 庁内整理番号

F I
E 0 4 B 1/94
B 3 2 B 13/06
E 0 4 C 2/28

技術表示箇所

V

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平7-319433

(22)出願日 平成7年(1995)11月1日

(71)出願人 000222428

東洋ポリマー株式会社

東京都北区西ケ原1丁目8番1号

(72)発明者 翠川 克夫

東京都北区西ケ原1丁目8番1号 東洋ポリマー株式会社内

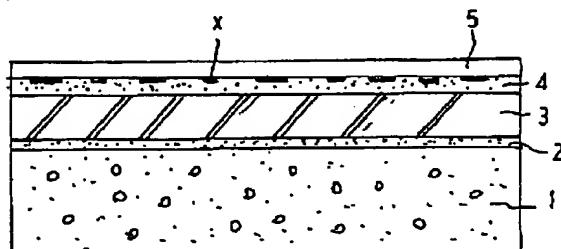
(74)代理人 弁理士 羽生 栄吉

(54)【発明の名称】 不燃キッチンパネル

(57)【要約】

【課題】台所のガスコンロなどの前面に用いる壁の壁板に油や煮汁のハネ、油煙などの汚れを落とし易く、かつ不燃性のものを提供すること。

【解決手段】繊維混入スラグセメント板1表面にアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板のいづれか1つを選択した金属板3、さらにその表面に弗素樹脂フィルム5を接着し、弗素樹脂フィルム5の裏面、または金属板3の表面に印刷模様Xを施した、不燃キッチンパネル。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 繊維混入スラグセメント板1の表面にアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板のいづれか1つを選択した金属板3、さらにその表面に弗素樹脂フィルム5を接着し、かつ、弗素樹脂フィルム5の裏面あるいは金属板3の表面に印刷模様xを施こした、不燃キッチンパネル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】台所のガスコンロの前面などの壁材に用いる不燃キッチンパネル。

【0002】

【従来技術】従来は、台所のガスコンロの前面などの壁材としてはステンレス板を貼ったタイルなどが用いられてきた。しかしこれらのステンレス板を貼ったタイルは油や煮汁などのハネ、油類などで汚れが甚だしい。このため汚れを防ぐため、プラスチックフィルムあるいはシートを貼っているが、多くのプラスチックフィルムあるいはシートは不燃性が乏しく、火災の危険が多い。

【0003】

【発明の解決しようとする課題】台所のガスコンロの前面に用いる壁材として、油や煮汁のハネ、油煙などの汚れを落とし易く、かつ不燃性のものを提供すること。

【0004】

【課題を解決する手段】繊維混入スラグセメント板1表面にアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板のいづれか1つを選択した金属板3、さらにその表面に弗素樹脂フィルム5を接着し、かつ、弗素樹脂フィルム5の裏面あるいは金属板3の表面に印刷模様xを施こした、不燃キッチンパネル。

【0005】

【効果】

▲a▼ 繊維混入スラグセメント1を基材とし、その表面に金属板3、弗素樹脂フィルム5を貼着したので、汚れを雑巾などで拭くだけで簡単に落とすことができる。また弗素樹脂フィルム1は耐熱性が高いので、火災の危険が少ない。また、弗素樹脂フィルム1は金属板3に貼着されるので、表面平滑性を保持でき、汚れの払拭効果が大きい。

【0006】もし、弗素樹脂フィルム5を直接繊維混入スラグセメント1に貼着すると、表面にしわがあり、汚れが落とし難くなる。さらに金属板3はアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板のいづれか1つより選択されるので、延展性に富み、弗素樹脂フィルム5の平滑性を阻害することがない。

【0007】▲a▼ 繊維混入スラグセメント1は強度も十分で、かつ安価であり大量生産に適する。また接着剤層2としてアクリル樹脂系のものを用いることにより金属板3との接着も可能である。

【0008】▲c▼ 弗素樹脂フィルム5の裏面または金属板3の表面に印刷模様を施すことにより化粧性を高めることができる。

【0009】

【発明の実施の形態】まづ、図1に記載された第1実施例について説明する。図1において、1は繊維混入スラグセメントであって、厚さは6~12mmである。繊維は特に限定されない。例えば使い古しの衣類をバラしたものでもよい。

【0010】2は接着剤層で、普通アクリル樹脂系の接着剤が用いられる。アクリル樹脂系の接着剤はスラグセメントとアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板との接着を可能とする。この接着剤層の厚さは0.01~0.03mmである。

【0011】3は厚さ0.3~0.7mmのアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板のいづれか1つを選択した金属板である。4は接着剤層で普通ポリエチレン樹脂系の接着剤が用いられる。5はバックプリントされた厚さ15~40ミクロンの弗素樹脂フィルムで、弗素樹脂としては4ふっ化PTFE、4-6ふっ化FEP、エチレン-4ふっ化エチレン共重合樹脂ETFE、ふっ化アルコキシPFAなどが用いられる。

【0012】第1実施例のキッチンパネルは、繊維混入スラグセメント1を基材とし、その表面に金属板3、さらにその表面に弗素樹脂フィルム5を接着したもので、全体として不燃性であり、かつ弗素樹脂フィルム5は耐熱性が高く、長期の使用に耐える。さらに汚れが雑巾などで拭くだけで簡単に落とせる利点がある。

【0013】さらに弗素樹脂フィルム5は金属板3に接着されるので、その平滑性を失うことがないので、雑巾で拭くとき、ゴツゴツすることなく、効果的に汚れを落とすことができる。もし直接スラグセメント1に接着すると弗素樹脂フィルム5の表面にはしわが寄り、汚れを落とし難くなる。

【0014】弗素樹脂フィルム5の裏面に印刷模様xを施こして、化粧性を高めることもできる。

【0015】つぎに図2に示した第2実施例は、第1実施例と異なり、印刷模様xを金属板3表面に施こしたものである。金属板3としてはアルミ板、ステンレス板、亜鉛鋼板、鉄板が選択されているので、いづれも印刷が可能である。そして、第1実施例のように、フィルム1の裏面に印刷した場合に比べ、印刷模様が安定する。ただし、接着剤層4は透明にする必要がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第1実施例の断面図、

【図2】 第2実施例の断面図、

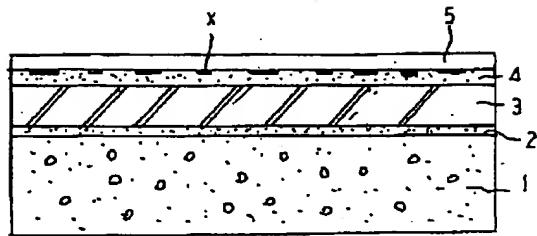
【符号の説明】

1: 繊維混入スラグセメント、2: 接着剤層、3: 金属板、4: 接着剤層、5: 弗素樹脂フィルム。

(3)

特開平9-125562

【図1】



【図2】

